SILKY

シルキーカーテンアクア
シルキーカーテン

内窓タイプ

内窓セパレートタイプ

取扱説明書 兼 無償修理規定

このたびは、弊社製品をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用になる前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に大切に保管してください。

販売店様へ

製品を販売店様でお取付けになられた場合は、
この取扱説明書 兼 無償修理規定はご使用になられるお客様へお渡しください。

タチカワブラインド

安全上のご注意（必ずお守りください）

この「取扱説明書」では、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

●表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結びつく可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつく可能性が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

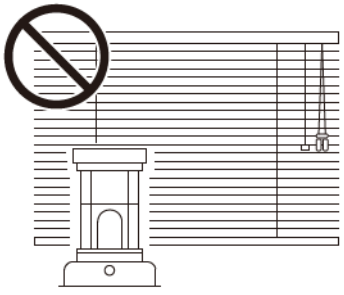
	してはいけない禁止の行為です。
	必ず実行していただく強制の行為です。

ご使用になる前にお読みください

⚠ 警告

■お子様を製品に近づけないでください。
スラット（羽根）やコードに引っ掛かる、コードが首に巻きつくなどして思わぬ事故を招くことがあります。

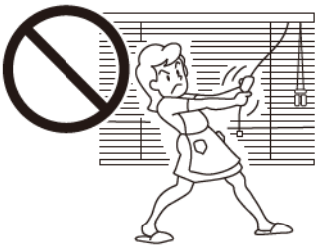
■火のそばではご使用にならないでください。
製品が溶けたり、燃えたりして危険です。



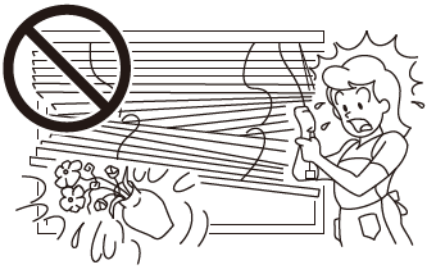
安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

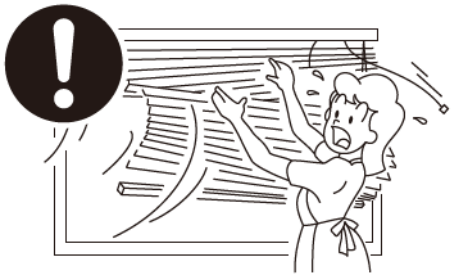
■ 製品にぶらさがったり、無理に引っ張ったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをする場合があります。



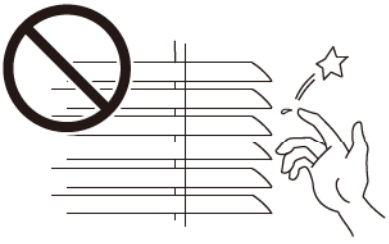
■ 製品の動く範囲内に人や動きを妨げるものがないようにしてください。けがをしたり、ものが破損する場合があります。



■ 窓を開ける時は、できるだけスラット（羽根）をたたみ込んでください。特に風の強いときは注意してください。製品の破損や、思わぬ事故につながる場合があります。



■ スラット（羽根）は、端部を不用意に扱うと、手を切る場合がありますのでご注意ください。



■ 窓（内窓含む）を開閉する時は、イコライザー、タッセルなどを挟まないようにしてください。予め破損しにくい部材を使用しておりますが、窓の開閉の勢いが強いと、部品が破損する場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

- 製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

⚠ 注意

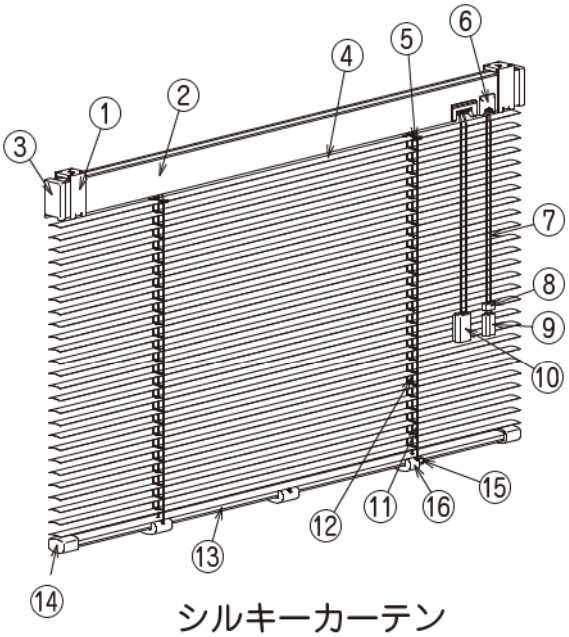
- 付属の取付けビスは木部用です。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。
- 本体取付け時には、ブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

使用環境上のご注意（必ずお守りください）

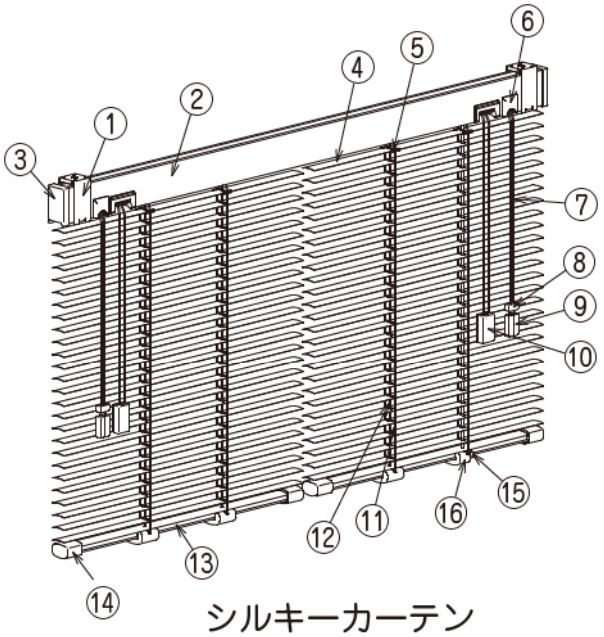
⚠ 警告

- この製品は屋内用として作られたものです。屋外では使用できません。
- シルキーカーテンは、蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品の機能低下、または不具合発生の原因となります。

各部の名称



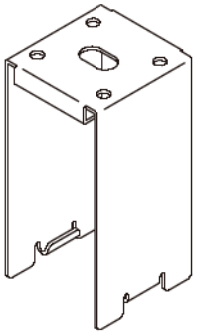
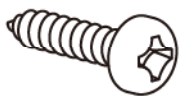
シルキーカーテン
内窓タイプ



シルキーカーテン
内窓セパレートタイプ

① 取付けブラケット	⑦ チルトコード	⑬ ボトムレール
② ヘッドボックス	⑧ レベルタッセル	⑭ ボトムキャップ
③ ボックスキャップ	⑨ チルトタッセル	⑮ テープホルダー
④ スラット	⑩ イコライザー	⑯ ボトムクッション
⑤ スラット押さえ	⑪ ラダーコード	
⑥ チルトカバー	⑫ 昇降コード	

付属部品

部品名称 / 製品幅（mm）	取付けブラケット	取付けビス（木部用）
		
300（790）～1460	2個	2本
1470～2000	3個	3本

※ （　）内の数値はセパレートタイプの場合。

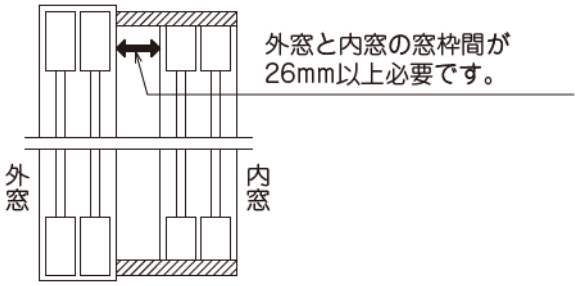
※ 本仕様及び付属部品は、予告なく変更する場合があります。

製品の取付けかた

必要な工具：プラスドライバー・巻尺（スケール）

1）取付けスペースの確認

製品の取付けスペースは、26mm以上必要となります。取付けスペースが小さく、取付けができない場合は、ふかし枠（サッシメーカー品）等により、スペースを確保する必要があります。

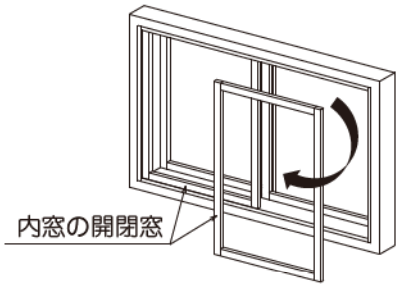


2）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

3）内窓の開閉窓の取り外し

内窓の取扱説明書に従い、内窓の開閉窓を取り外してください。



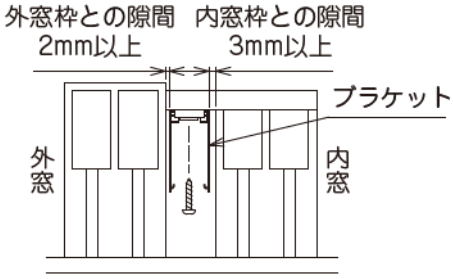
4）取付け下地の確認

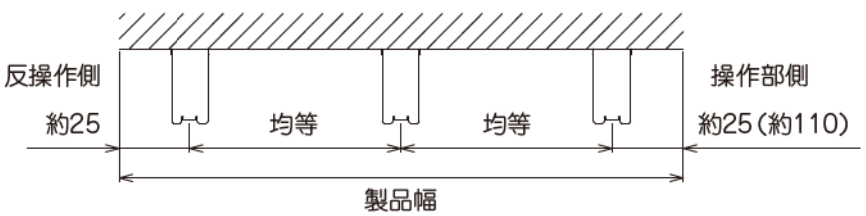
製品に付属しているビスは木部用です。木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

・木部に取付けるときは、厚みが10mm以上であることを確認してください。
・取付け部が水平になっているか確認してください。
・製品の動く範囲内に障害物がないか確認してください。

5）ブラケットの取付け

・製品両端部より約25mm離した位置にブラケットをビスで固定してください。
※製品幅が300～380mmの場合は、操作部側は製品端部より約110mm離した位置に固定してください。
※ブラケットの向きに前後はありません。
・ブラケットが3個の場合は、両端のブラケット間を等分にした位置で、両サイドのブラケットと一直線上になるように取付けてください。





※（　）内の寸法は、製品幅が300～380mmの場合

製品の取付けかた

6）製品本体の取付け

①ヘッドボックスに付いている緩衝材等を取り除き、束ねているコード類はほどいてください。

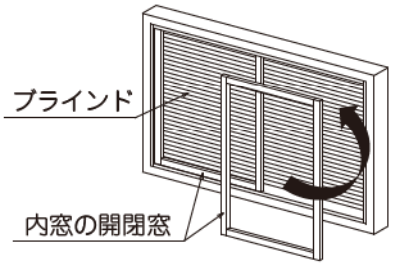
②ブラケット下面のツメ部分を少し広げながらヘッドボックスを挿入します。

③ヘッドボックスを押し込み、ブラケットのツメにヘッドボックス下部のツバを掛けます。

> ⚠ **注意**　製品本体取付け時には、製品が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

7）内窓の開閉窓の取付け

始めに取り外した内窓の開閉窓を取付けて完了です。



製品の取外しかた

①製品は完全にたたみ込まず少し（20mm程度）下げた状態にします。

②ヘッドボックスを上に押し込みながら、ブラケットのツメ部分を少し広げると、製品を取外すことができます。

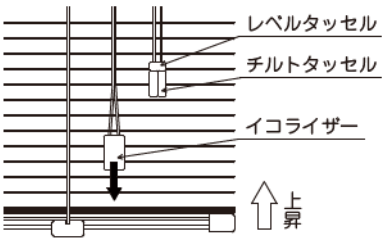
> ⚠ **注意**　ブラケットのツメ部分を広げるときは、必ず製品本体を手で支えながらおこなってください。製品が落下し思わぬけがをすることがあります。

操作のしかた

1）ブラインドの昇降操作
スラットは必ず水平の状態にして昇降操作をおこなってください。

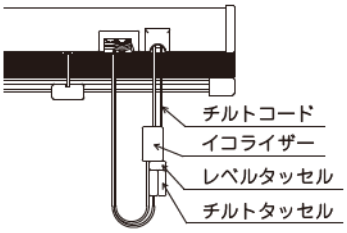
●ブラインドを上げる場合
昇降コード（もしくはイコライザー）を下に引くとブラインドが上がります（図1）。

図1



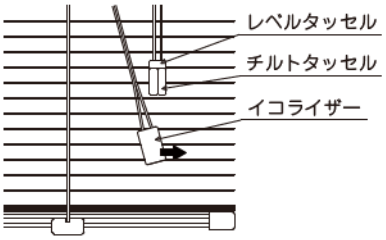
> **⚠ 注意**
> ・ブラインドを上げると、上げた分の昇降コードが引き出されます。引き出された昇降コードは、邪魔にならないようチルトコードに引っ掛けてください（図2）。
> ・スラットが全部たたみ込まれるとそれ以上は上がりません。無理に昇降コードを引かないでください。

図2



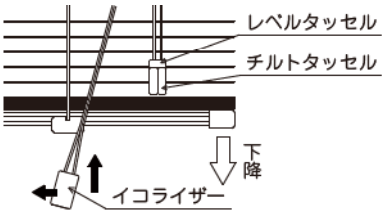
●ブラインドを止める場合
昇降コードを少し外側に引くと、その位置で止まります（図3）。

図3



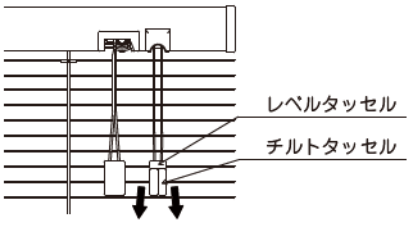
●ブラインドを下げる場合
チルトコードからイコライザーを外します。
昇降コードを少し内側に引き、コードを持ったままゆっくりとブラインドを下げてください（図4）。

図4



> **⚠ 注意**
> ブラインドを下げる場合は、必ず昇降コード（もしくはイコライザー）を持って操作をしてください。手を離すとブラインドが勢いよく下降し、けがや破損の原因となります。ブラインドが止まるまでは、昇降コードから絶対に手を離さないでください。

2）ブラインドの開閉操作
チルトタッセルを引くとスラットが回転し、採光量を調節することができます。
スラットが回転し切ると、カチッと音がなり、それ以上回転しなくなります（エンドクリック機能）。



セパレートタイプの場合　スラットの角度調整は、左右のブラインド一斉の操作となります。昇降は左右別々に操作ができます。

> **⚠ 注意**
> スラットが回転し切ると、それ以上は回転しません。
> 無理にチルトタッセルを引かないでください。

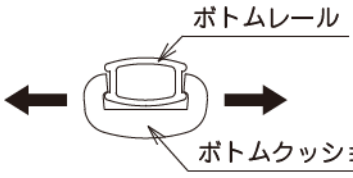
ボトムクッションの位置調整のしかた

ラダーコードが2本（製品幅300～660mm）及び4本（製品幅1070～1460mm）の製品の場合のみ、ボトムレール中間に取付けられているボトムクッション位置を変更することができます。

※セパレートタイプ及び上記以外の製品は、ボトムクッションの位置調整はできません。

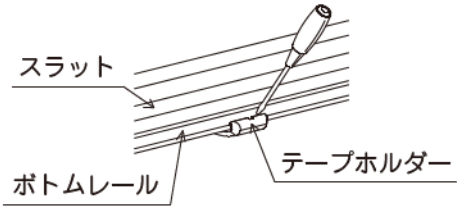
必要な道具：マイナスドライバー

①ボトムクッションを左右に広げ、取り外します。



②マイナスドライバーをテープホルダーとボトムレールの間に入れ、テープホルダーを取り外します。

③変更したい位置にテープホルダーを取付け、その上からボトムクッションを取付けて完了です。

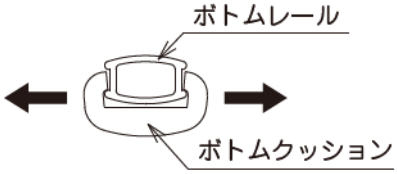


高さ調整のしかた

窓枠の下部にボトムレールが当たってしまう場合の対策など、ブラインドの高さを短く微調整したい場合に便利な機能です。

必要な道具：コイン・硬貨　※工具不要

①テープホルダーに付いているボトムクッションを左右に広げ、取り外します。

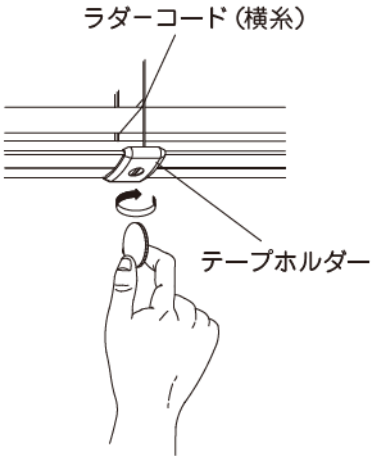


②テープホルダーのダイヤルにコインを差し込み右に回転させると製品高さを縮められます。

ダイヤル１／４回転で約５mm

高さを確認しながら少しずつ調整してください。

ラダーコードの横糸を切断すると約50mmまで短く調整することができます。



③調整の際は、ダイヤルの付いている全てのテープホルダーを同じ分回転させ高さを合わせてください。

④テープホルダーにボトムクッションを取付けて完了です。

※万が一縮めすぎた場合は、ダイヤルを元に戻します。回した方向と逆にダイヤルを回し、ラダーコードを手で引っ張ると元の長さに戻すことができますので、再度調整してください。

お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽根バタキ等でほこりを取り払ってください。
●油気の多いところでは、汚れをこまめに拭きとってください。
●汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めたものをご使用ください。また洗剤を使用した後は必ず水拭きをして、洗剤成分をきちんと拭きとってから乾かしてください。尚、住宅用中性洗剤の中には洗浄力が強いものも多いので、ブラインドのお手入れには、塗装膜保護のため台所用洗剤をおすすめしています。
●シルキーカーテンは内部部品が耐水仕様ではないので、丸洗いは絶対にしないでください。サビや故障の原因となります。
（シルキーカーテンアクアは耐水仕様なので丸洗いできます）

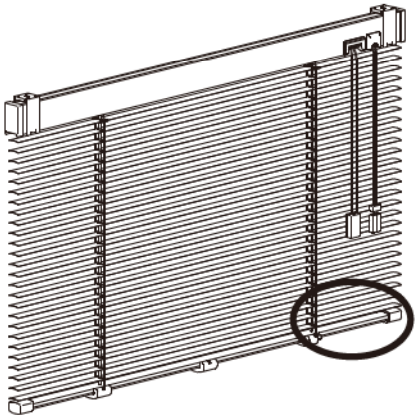
こんなときは

ボトムクッションの位置を変えたいとき	ラダーコード本数が２本及び４本の製品の場合のみ、ボトムレール中間に取付けられているボトムクッションの位置を調整することができます。８ページに記載している手順にしたがって調整してください。
ブラインドの高さを縮めたいとき ボトムレールが下に当たってしまうき	高さ方向に短く微調整ができます。８ページに記載している手順にしたがって調整してください。

メンテナンスシールのみかた

製品にはその製品の色№、製品サイズなどがわかるメンテナンスシールを貼付けております。修理や部品交換等のお問い合せの際、このシールに記載されている内容をお手元にご用意いただくと、スムーズに対応することができます。
お問い合せの前に、あらかじめご確認ください。

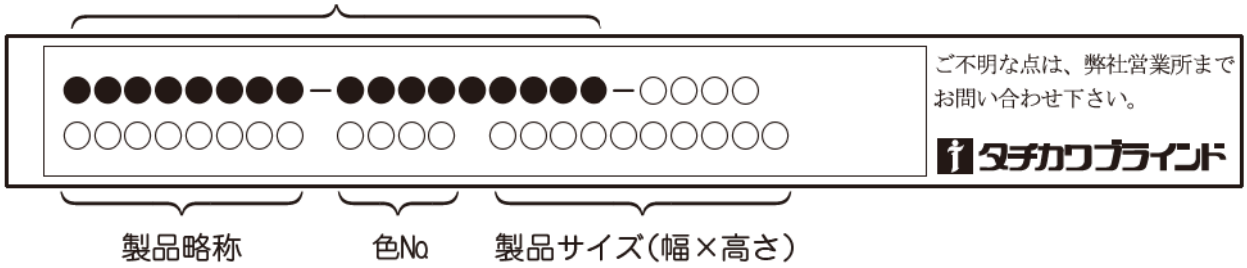
【メンテナンスシールの貼付場所】



製品正面から見て、ボトムレール右側上面に貼り付けています。

【メンテナンスシールの記載内容】

お問合せの場合は、●部18桁（「－」ハイフン含む）の番号をご連絡ください。



保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

取扱説明書に記載通りの正常なご使用状態で、万一故障した場合は、ご購入日より３年間は無料にて修理をさせていただきます。但し、「スラット部」、「コード類」につきましては、無償修理期間をご購入日より１年間とさせていただきます。

※次のような場合は無償修理期間内でも有料修理となります。
・取付け上の誤り、使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・天変地異（火災、地震、水害、落雷等）による故障及び損傷。
・特殊環境（極度の湿気、薬品のガス、公害、塵埃等）による故障及び損傷。
※本規定は、日本国内においてのみ有効です。

修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
転居などにより、お買上げいただいた販売店などが不明なときは、弊社支店にお問い合わせください。

立川ブラインド工業株式会社
本社：〒108-8334　東京都港区三田3丁目1番12号　TEL.03-5484-6100（大代表）
ホームページアドレス　http://www.blind.co.jp/

R70 PRINTED WITH SOYINK
この印刷物は、環境に配慮し古紙配合率70%の再生紙を使用しています。また、揮発性有機化合物の発生を抑えた大豆油インキを使用しています。

2012.07
943455